

2023 年度版

# あいちの経済

(2022 年度 愛知県経済の動向)

ウィズコロナの下で、緩やかに持ち直しの動きが続いた愛知県経済

# 目 次

## 2022 年度 愛知県経済の動向

1	ウィズコロナの下で、緩やかに持ち直しの動きが続いた愛知県経済……	1
	本県の主要指標の矢印判定の推移……	6
	本県の景気判断の推移……	7
	社会・経済トピックス……	8
2	2年ぶりに低下した鉱工業生産……	9
3	設備投資は、製造業、非製造業ともに増加……	16
4	2年ぶりに減少した住宅建設……	20
5	4年連続で増加した公共工事……	25
6	厳しい状況ながら持ち直しの動きが続いた個人消費……	30
7	持ち直しの動きが続いた雇用情勢……	37
8	2年連続で増収・増益となった企業経営……	44
9	2年連続で増加した貿易……	52
10	2年連続で上昇した企業物価と3年ぶりに上昇した消費者物価……	61

※本報告は原則として2023年10月（GDPならびにGDP関連指標については2023年12月）までに入手したデータに基づいている。

本報告上の図表について、金額及び構成比は表示単位に四捨五入してあるので、内訳の計は必ずしも合計に一致しない。

（参考）四半期略称の記載例

第1四半期（1～3月期）： I、1－3	第2四半期（4～6月期）： II、4－6
第3四半期（7～9月期）： III、7－9	第4四半期（10～12月期）： IV、10－12

## 2022年度愛知県経済の動向

### 1 ウィズコロナの下で、緩やかに持ち直しの動きが続いた愛知県経済

#### (日本経済の概況)

2022年の日本経済は、新型コロナウイルスの感染が拡大し景気の持ち直しの動きが一服する局面はあったものの、ワクチン接種の進展により3月にはまん延防止等重点措置も全面的に解除され、それ以降はウィズコロナの下で、経済社会活動は緩やかに持ち直しの動きが続いた。

その一方で、2月より始まったロシアのウクライナ侵攻を背景とした原材料価格の上昇や円安による輸入物価の上昇は国内物価を上昇させ、家計・企業の活動に影響を与えた。

23年に入り、感染症対策の段階的な緩和によって経済社会活動の正常化の動きが続いた。街角の景況感も改善され、サービスを中心とした個人消費や、好調な企業収益を背景とした設備投資等持ち直しの動きが続き、内需を中心に景気は緩やかな回復の動きがみられた。

企業収益については、法人企業統計調査（財務省）によると、22年度の経常利益は、製造業は全体で前年度比4.4%増、非製造業でも全体で同19.5%増となり、全産業では同13.5%増となった。

雇用情勢については、22年度平均の有効求人倍率は1.31倍と、前年度比0.15ポイント上昇し、2年連続で上昇となり、年度平均の完全失業率も2.6%と前年度からわずかながら改善した。

22年度の国内企業物価指数（総平均）は、エネルギーや原材料価格の高騰を背景に、コスト上昇分を価格転嫁する動きが進み、前年度比9.3%上昇と2年連続で上昇した。22年度の消費者物価（生鮮食品を除く総合）についても、資源価格高騰や円安を背景に、同3.0%と2年連続で上昇した。

株価は、世界的に金融緩和政策が実施される中、企業業績が改善したことによって高い水準で推移した。また、長期金利（10年国債利回り）は、日銀の大規模な金融緩和策により22年当初より0.2%程度を推移していたが、同12月に長期金利の許容変動幅が見直され、23年3月以降は0.4%程度の水準で推移した（図表1-1、1-2、1-3）。

図表1-1 主要経済指標の動向(全国)

項 目	年 度			2022年				2023年		
	2020	2021	2022	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	
G D P	国内総生産*1,*2	△ 3.9	2.8	1.5	△ 0.6	1.1	△ 0.1	0.2	1.2	0.9
	うち内需寄与度	△ 3.3	2.0	2.0	△ 0.1	1.0	0.4	△ 0.2	1.6	△ 0.7
	うち民需寄与度	△ 4.0	1.7	2.0	△ 0.0	0.9	0.4	△ 0.4	1.5	△ 0.8
生 産	鉱工業生産指数(2020年=100)*1	99.7	105.2	104.9	105.4	103.9	107.1	105.3	103.4	104.8
	鉱工業生産者在庫指数(期末値)(2020年=100)*1	91.2	98.4	100.7	101.4	99.9	103.4	103.1	103.8	105.8
	製造工業稼働率指数(2020年=100)*1	100.4	108.0	107.9	108.1	104.3	109.5	111.2	106.6	107.8
物 価	国内企業物価指数(2020年=100)*3	△ 1.4	7.1	9.3	9.4	9.8	9.9	10.1	8.4	5.0
	消費者物価指数(2020年=100)*3	△ 0.4	0.1	3.0	0.9	2.4	2.9	3.9	3.6	3.4
民 需	民間最終消費支出*1,*2	△ 4.8	1.8	2.7	△ 1.1	2.0	0.1	△ 0.0	0.9	△ 0.6
	民間住宅投資*1,*2	△ 7.4	0.1	△ 3.4	△ 1.2	△ 2.6	0.4	0.7	0.3	1.7
	民間企業設備投資*1,*2	△ 5.6	1.7	3.4	△ 0.0	2.1	1.8	△ 0.8	1.8	△ 1.3
財 政	公的固定資本形成*1,*2	4.8	△ 6.5	△ 6.1	△ 4.5	△ 2.0	1.1	△ 0.1	1.9	1.5
	マネーストック(M2)平均残高(暦年)*3	6.5	6.4	3.3	3.5	3.3	3.4	3.0	2.6	2.6
	国債新発債流通利回(10年)(%)*4,*5	0.035	0.089	0.454	0.218	0.242	0.277	0.454	0.389	0.426
金 融	全国銀行貸出金(月末値)*3	4.8	1.7	4.0	1.7	2.8	3.9	4.3	4.0	3.9
	貸金指数(きまて支給する給与)(2020年=100)*3	△ 0.8	0.8	1.3	1.1	1.4	1.5	1.6	0.8	1.3
	就業者数*3	△ 0.9	0.1	0.3	△ 0.4	0.3	0.2	0.4	0.3	0.3
労 働 等	有効求人倍率(倍)*1,*4	1.10	1.16	1.31	1.21	1.25	1.30	1.35	1.34	1.31
	完全失業率(%)*1,*4	2.9	2.8	2.6	2.7	2.7	2.6	2.4	2.6	2.7
	輸出(通関、円ベース、FOB価格)*3,*7	△ 8.4	23.6	15.5	14.5	15.8	23.2	18.7	4.8	1.6
貿 易 等	輸入(通関、円ベース、CIF価格)*3,*7	△ 11.3	33.6	32.6	35.6	41.2	47.9	34.7	10.8	△ 8.8
	経常収支(億円)*4	169,459	200,956	82,681	48,586	20,871	21,360	16,328	24,123	51,923
	為替相場(暦年)(1ドルにつき円)*4,*6	106.8	109.8	131.4	116.2	129.6	138.4	141.4	132.3	137.4
企 業	経常利益(金融業、保険業を除く)*3	△ 12.0	33.5	13.5	13.7	17.6	18.3	△ 2.8	4.3	11.6
	倒産件数*3	△ 17.0	△ 16.5	15.1	△ 3.2	4.4	9.5	15.9	30.1	34.1

注1) 季節調整値

注2) 前期比

注3) 前年同期比

注4) 当該欄の( )内に示す表示単位による。

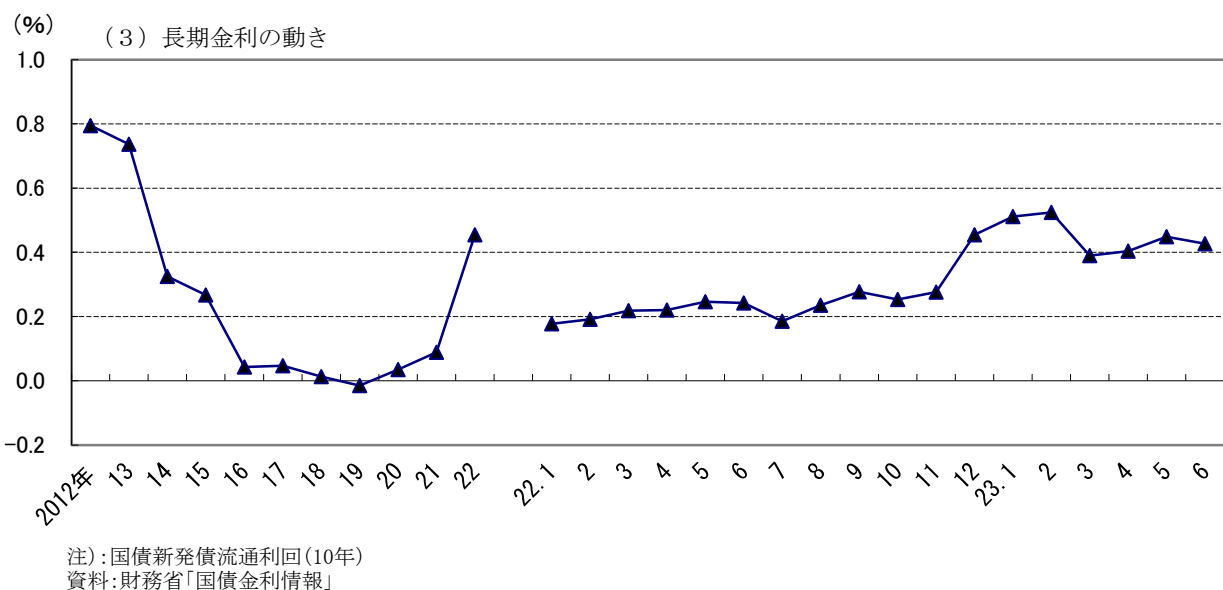
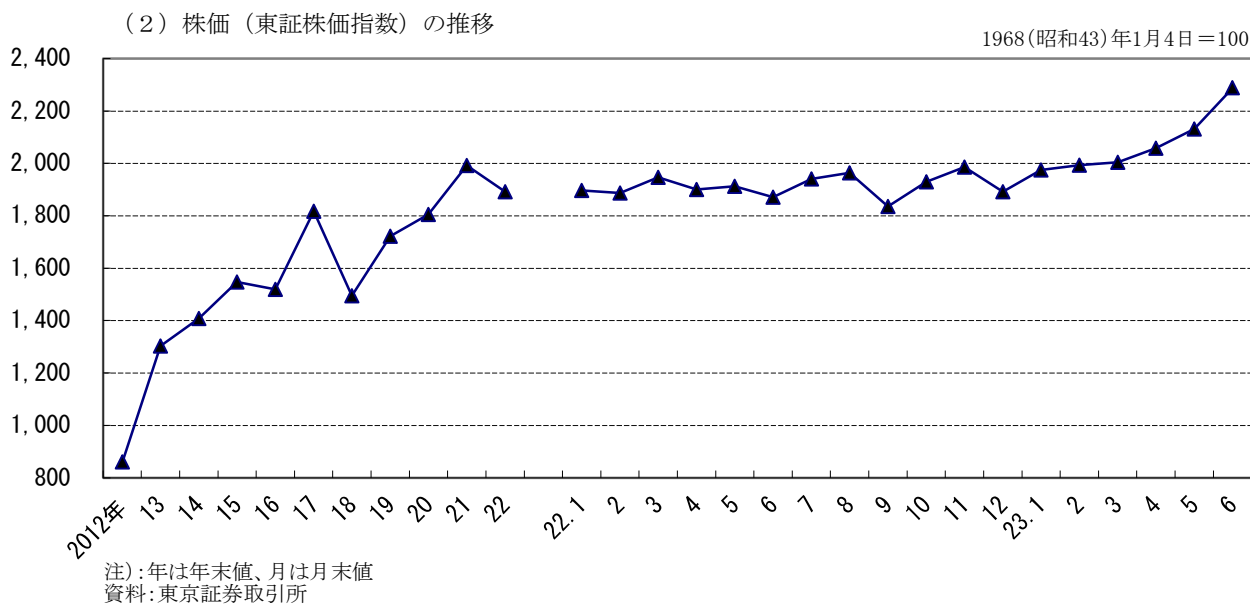
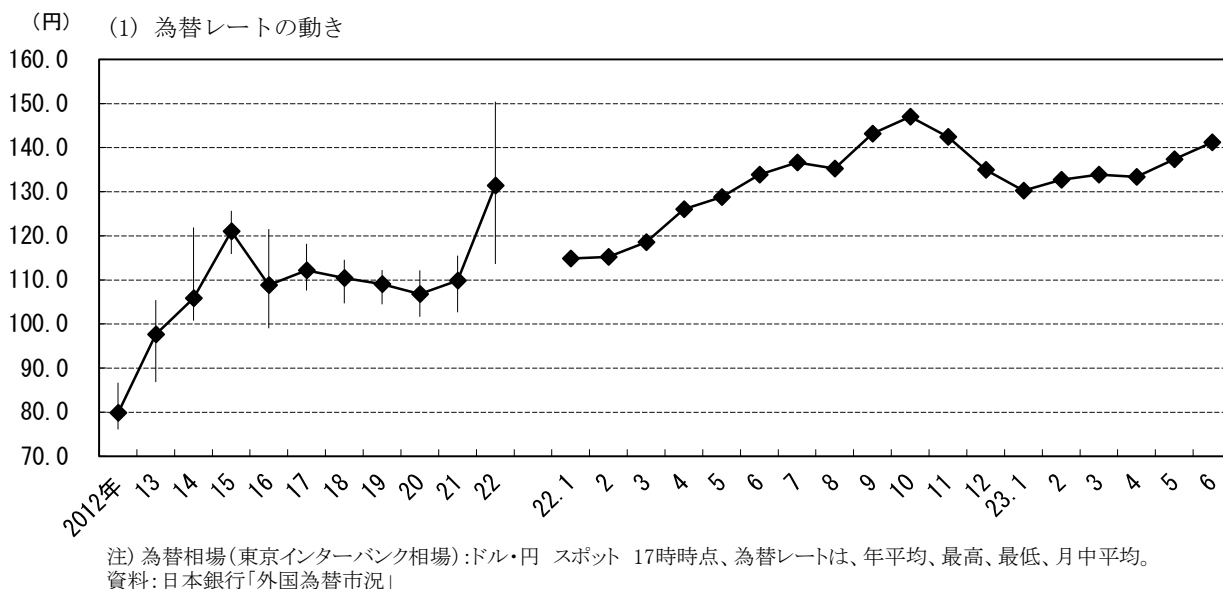
注5) 国債新発債流通利回:流通市場における固定利付国債の実勢価格に基づいて算出した主要年限毎の半年複利金利

注6) 為替相場(東京インターバンク相場):ドル・円 スポット 17時時点 為替レートは年、期中平均。

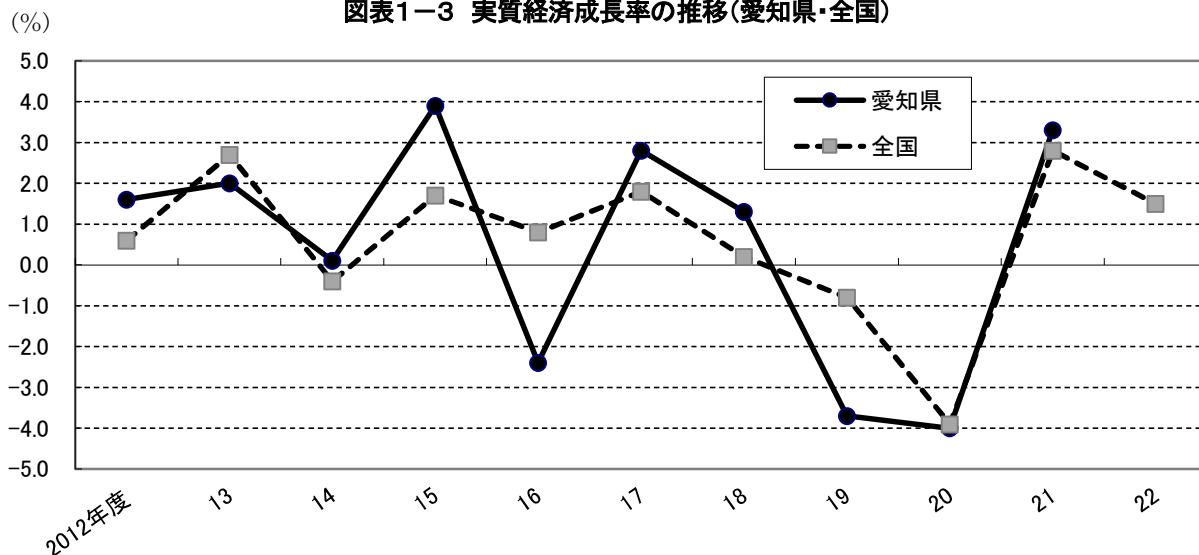
注7) 輸出・輸入:2020~2022年については確定値、2023年については確報値を用いた。

資料: 内閣府「国民経済計算」、総務省「消費者物価指数」「労働力調査」、財務省「国債金利情報」「国際収支状況」「法人企業統計調査」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」「一般職業紹介状況」、経済産業省「鉱工業指数」、日本銀行「企業物価指数」「為替相場」、(株)東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

図表1-2 為替・株価・長期金利の推移



図表1-3 実質経済成長率の推移(愛知県・全国)



注) 2015暦年連鎖方式

資料: 内閣府「国民経済計算」、愛知県統計課「あいちの県民経済計算」

### (世界経済の概況)

2022年の世界経済は、前年からの世界同時的な景気回復等に伴う需給逼迫による物価上昇が、ロシアによるウクライナ侵攻や、資源等国際商品市況の夏頃にかけての高騰、経済全体での労働コストの増加等を背景として一段と進行した。そのため物価安定に向けて、過去と比較しても急速な金融引き締めが進み、経済活動に対する政策的な下押しが見られた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の進展等による経済活動の再開の進展、雇用の安定、感染症対策等により形成された貯蓄超過や物価高騰対策等により、底堅い動きが見られた。

23年に入ると、主要先進国の景気は、欧州では足踏み状態がみられたが、アメリカは自律的に回復しており、総じて見れば底堅い動きとなった。中国は、感染症が収束し経済活動の正常化が進むが、世界的な半導体不足の影響や不動産市場の低迷等から、持ち直しの動きに足踏みがみられた。

### (ウイズコロナの下で、緩やかに持ち直しの動きが続いた愛知県経済)

2022年の本県経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの普及が進み、行動制限が段階的に緩和される中、緩やかに持ち直しの動きが続いた。

サプライチェーンの供給制約等の影響を受けた鉱工業生産指数は2年ぶりに低下したが、輸出は2年連続で増加し、企業収益も2年連続で増益となった。その一方で企業倒産件数は4年ぶりに増加し、負債総額も2年ぶりに増加した。

また、東海地域における設備投資は、製造業では、電気機械、鉄鋼、非鉄金属等が増加し、非製造業については、電力、卸売・小売等が増加したことから、産業全体では2年連続で前年を上回った。

個人消費をみると、厳しい状況ながら持ち直しの動きが続き、百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・ドラッグストアの販売額は前年を上回った。その一方、家電大型専門店販売額や乗用車の販売台数は前年を下回った。

雇用情勢は持ち直しの動きが続いたが、物価上昇の影響により実質賃金は前年を下回った。公共工事費は4年連続で増加したが、新設住宅着工戸数は2年ぶりに減少した。

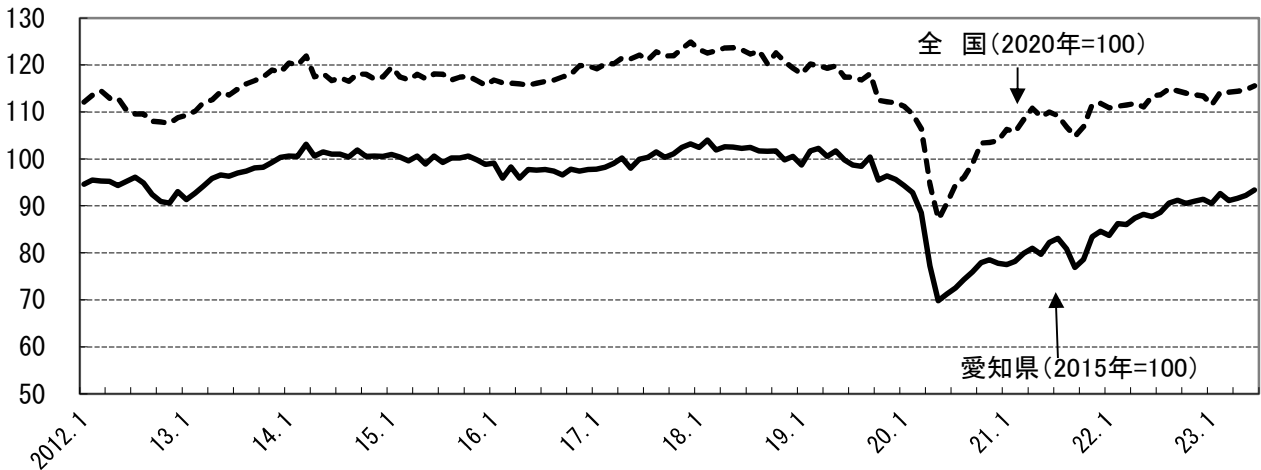
23年に入ると、感染症対策の段階的な緩和によって経済社会活動の正常化の動きが続いたこともあり、緩やかな景気の回復の動きがみられた。その一方で、ロシア・ウクライナ情勢等による原材料価格の上昇や円安による輸入物価の上昇は国内物価を上昇させ、家計・企業の活動に影響を与えることとなった。

(景気動向指数の推移からみた愛知県の景況)

日本経済の景況を景気の変動からみてみると、リーマンショック後の2009年3月に景気の谷を迎えた後、東日本大震災、欧州債務危機問題等により悪化に転じる場面もあったが、12年12月から景気の拡張局面に入った。その中では2度にわたる消費税率引き上げや米中による通商問題の影響等があったものの、拡張局面は戦後2番目の長さの71か月となる18年10月まで続いた。その後、18年11月から景気後退となった景気の状態は、新型コロナワクチン感染症の影響により日本経済が大幅に冷え込んだ20年5月に谷を迎えたが、以降ワクチンの普及等によって行動制限が徐々に緩和され、21年に入ってからは、感染が拡大し足踏みを示す局面はあったものの、世界経済の持ち直しもあり、22年の景気は改善を示す動きとなった。

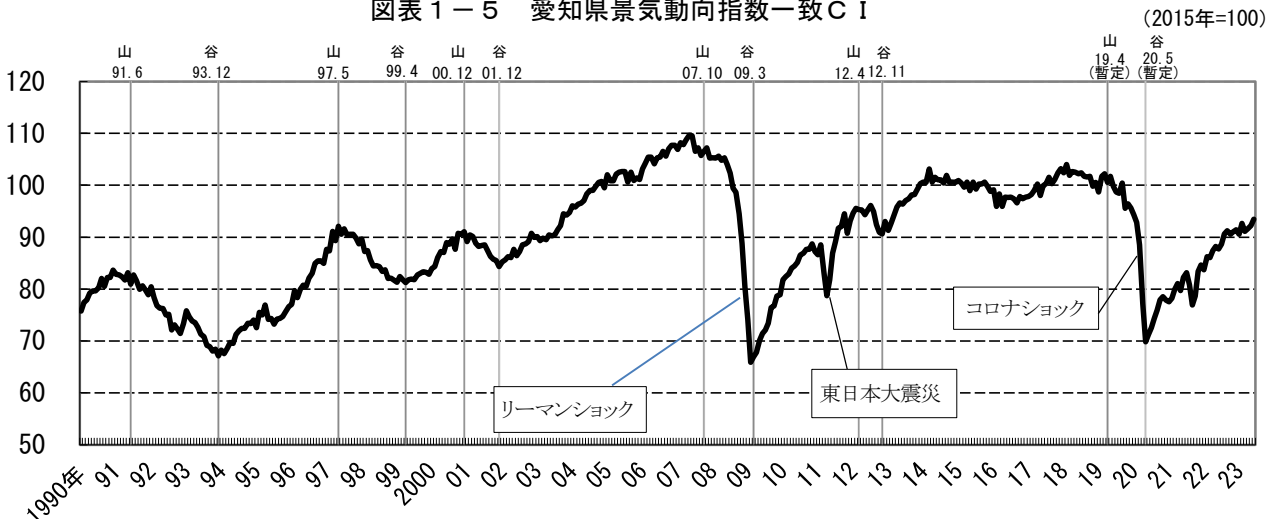
本県経済も、リーマンショック後の2009年3月に景気の谷(第15循環)を迎えた後、景気の拡張局面に入ったが、12年4月の景気の山(第15循環)を境に同年11月の景気の谷(第15循環)にかけて後退した。しかし、12月以降は、消費税率引き上げ等の景気の下押し要因があったものの、19年4月の景気の山(第16循環、暫定)を迎えるまで、全国の71か月を超える77か月間拡張期間は続いた。その後、景気後退となった景気の状態は、新型コロナワクチン感染症の影響により本県経済が大きく落ち込んだ20年5月に谷(第16循環、暫定)を迎えたが、以降ワクチンの普及等によって行動制限が徐々に緩和され、21年以降は、全国同様、22年の景気は改善を示す動きとなった(図表1-4、1-5)。

図表1-4 愛知県における景気動向指数一致C Iの推移



資料：内閣府「景気動向指数」、愛知県統計課「あいちの景気動向」

図表1-5 愛知県景気動向指数一致C I



注：山・谷の日付は愛知県の日付による。  
資料：愛知県統計課「あいちの景気動向」

本県の景況を景気の各経済部門への波及の度合いを示す景気動向指数(DI:Diffusion Index)で見ると、2022年の一致系列DIは、個別系列全体のうち、5月～6月を除き、改善を示す系列の割合が50%以上となっていたが、23年に入ってから1月に50%を大きく下回り、その後も一進一退の動きとなった(図表1-6)。

図表1-6 景気動向指数DI一致系列方向変化表(愛知県)

系 列 名	2022年												2023年					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
1 鉱工業生産指数	+	-	-	+	-	-	-	+	+	-	+	-	-	+	+	+	+	+
2 投資財生産指数	+	+	-	+	-	-	-	+	+	+	-	+	-	-	-	-	-	+
3 所定外労働時間投入度(製造業)	+	+	+	-	-	-	+	-	+	+	-	-	+	+	+	-	+	+
4 有効求人倍率(学卒除、パート含)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	+
5 百貨店・スーパー販売額	+	-	+	+	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	-	-	+	+
6 人件費比率(製造業)※	+	+	-	+	-	-	-	+	+	+	+	+	-	+	+	+	+	+
7 輸入通関実績	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	+	-	-
一 致 D I(%)	100.0	71.4	57.1	85.7	42.9	42.9	57.1	71.4	100.0	85.7	57.1	57.1	28.6	57.1	42.9	42.9	57.1	85.7

注1)3か月前と比較して増加した時は「+」、保合いの時は「0」(ゼロ)、減少した時は「-」。

注2)※は逆サイクルを示し、増加した時は「-」、減少した時は「+」。

資料:愛知県統計課「あいちの景気動向」

### (生産、需要、その他の動向)

2022年の本県の状況をみると、生産面では鉱工業生産指数が、前年比で1.3%の低下となり、2年ぶりに前年を下回った。

設備投資については、東海地域の大企業・中堅企業では、全産業で前年度比3.7%増(金額ベース)と2年連続で増加し、本県の住宅建設も、新設住宅着工戸数が前年度比7.0%減と2年ぶりに減少した。

また、公共工事は、公共土木費が同5.0%増加し、公共建築費も同1.7%増加したことから、全体として4年連続で増加となった。

賃金をみると、1人当たりの名目賃金は3年ぶりに前年を上回ったものの、実質賃金は3年連続で前年を下回った。また、1世帯(名古屋市、二人以上の世帯のうち勤労者世帯)当たりの実収入、非消費支出、可処分所得及び消費支出はいずれも2年ぶりに前年を上回った。

消費をみると、百貨店販売額は前年比10.6%増と2年連続で前年を上回り、スーパー販売額も同0.1%増と2年ぶりに前年を上回った。なお、代表的な耐久消費財の乗用車販売台数(軽乗用車を含む)については、同9.2%減と5年連続で前年を下回った。

雇用情勢では、完全失業率は2.0%減となり4年ぶりに低下し、有効求人倍率(新規学卒者を除き、パートを含む)は1.39倍と2年連続で上昇した。その一方で、常用労働者数は前年比1.2%減と3年連続で減少し、雇用保険受給資格決定件数については、2年ぶりに増加となった。

一方、企業経営では、県内の企業倒産件数は前年度比31.6%増と4年ぶりの増加となり、企業負債総額も同24.7%増と2年ぶりに増加した。

貿易では、県内貿易港4港(名古屋港、中部空港、三河港、衣浦港)の輸出額の合計は、前年比11.7%増と2年連続の増加となった。また、輸入額の合計も、同39.1%増と2年連続の増加となった。これにより貿易収支は、4港合計で同10.0%減の8兆693億円の黒字となった。

物価では、消費者物価指数(名古屋市)は、輸入物価や企業物価上昇の影響から前年度比3.5%上昇し、2年ぶりの上昇となった。

## 本県の主要指標の矢印判定の推移

	2022年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月
生産	▲	▼	→	→	→	→	▼	→	→	▼	▲	→
投資 (住宅建設)	▼	→	▼	▼	▼	→	→	▲	→	▲	▼	▼
投資 (公共工事)	→	▲	→	→	▼	▲	▼	▲	▼	▼	→	→
個人消費	→	▲	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
雇用	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	→	→	→
企業(倒産)	▼	→	▼	▲	▼	→	▼	→	▲	▼	▼	▼
企業(金融)	→	→	▲	▲	▲	▲	▲	▲	→	→	→	→
貿易(輸出)	▲	→	→	→	▲	▲	▲	▲	→	→	→	→
貿易(輸入)	→	▲	▲	▲	▲	▲	▲	→	→	→	→	→
物価 (企業物価)	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	→
物価 (消費者物価)	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	→	▲

注) 水平矢印の黒色・白色は直近の上向き・下向き矢印に依存する。

	使用データ	矢印判定基準		使用データ	矢印判定基準	
生産	愛知県県民文化局「愛知県鉱工業指数」／生産指数(鉱工業)	↑:前月比3%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓:前月比3%以上マイナスかつ対3か月前比マイナス →:上記以外	企業(倒産)	㈱東京商工リサーチ名古屋支社「東海三県下企業倒産動向」	↑:月間倒産件数の対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス ↓:月間倒産件数の対前年同月比5%以上かつ同比の対3か月前比プラス →:上記以外	
投資 (住宅建設)	国土交通省「住宅着工統計」／新設住宅着工件数	↑:月間着工戸数の対前年同月比3%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓:月間着工戸数の対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →:上記以外	企業(金融)	日本銀行「都道府県別預金、現金、貸出金(国内銀行)」／貸出残高	↑:対前年同月比1%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓:対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →:上記以外	
投資 (公共工事)	東日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」／月間請負金額	↑:対前年同月比3%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓:対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →:上記以外	貿易(輸出)	名古屋税関「管内貿易概況」／名目輸出額	↑:対前年同月比5%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓:対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →:上記以外	
個人消費	経済産業省「商業動態統計」のうち「業態別、都道府県別、商品別販売額等」／大型小売店販売額合計(百貨店＋スーパー)	↑:対前年同月比5%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓:対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →:上記以外	貿易(輸入)	名古屋税関「管内貿易概況」／名目輸入額	↑:対前年同月比5%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓:対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →:上記以外	
雇用	愛知労働局「最近の雇用情勢」／有効求人倍率	↑:有効求人倍率1超かつ対3か月前比プラスの場合又は有効求人倍率対前月 0.1 ポイント以上プラスで、かつ対3か月前比 0.2 ポイント以上プラスの場合 ↓:有効求人倍率1未満かつ対3か月前比マイナスの場合又は有効求人倍率対前月 0.1 ポイント以上マイナスで、かつ対3か月前比 0.2 ポイント以上マイナスの場合 →:上記以外	物価 (企業物価)	日本銀行「企業物価指数」／国内企業物価	↑:対前年同月比1%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓:対前年同月比マイナスかつ対3か月前比マイナス →:上記以外	
			物価 (消費者物価)	総務省「消費者物価指数」／名古屋市(総合)	↑:対前年同月比1%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓:対前年同月比マイナスかつ対3か月前比マイナス →:上記以外	
区分	上昇 ▲	横ばい →	下降 ▼			

注1) 矢印は、対前年比、3か月前比を中心に変化の方向を表す。

注2) 「倒産」については、倒産件数が上昇の場合は“▼”を、下降の場合は“▲”を表示する。



### 本県の景気判断の推移

年月	CI一致指数	前月差 (ポイント)	判 断
2022.1	83.7	△ 0.9	景気動向指数（C I一致指数）は、足踏みを示している。
2	86.2	2.5	景気動向指数（C I一致指数）は、改善を示している。
3	86.0	△ 0.2	同上
4	87.4	1.4	同上
5	88.2	0.8	同上
6	87.7	△ 0.5	同上
7	88.6	0.9	同上
8	90.6	2.0	同上
9	91.2	0.6	同上
10	90.5	△ 0.7	同上
11	91.0	0.5	同上
12	91.4	0.4	同上
2023.1	90.5	△ 0.9	同上
2	92.6	2.1	同上
3	91.1	△ 1.5	同上
4	91.6	0.5	同上
5	92.2	0.6	同上
6	93.4	1.2	同上

資料:愛知県統計課「あいちの景気動向」2023年10月分

## 社会・経済トピックス

年 月	円の対米 ドルレート	事 項
2022年4月	126.13円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・善光寺(長野)で「前立本尊」御開帳始まる コロナ禍で延期、1年遅れ</li> <li>・東証再編、3市場がスタート 最上位「プライム」に従来の一部から大半移行</li> <li>・知床沖で観光船沈没 乗客乗員 26人、うち発見 14人の死亡確認</li> <li>・全国初の平成生まれ市長が誕生 大阪府泉南市で 31歳の山本優真氏</li> <li>・★名古屋銀行と静岡銀行が包括業務提携 株式持ち合い、合併は目指さず</li> </ul>
5月	128.68円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・★トヨタの営業益 2.9兆円 3月期、日本企業の最高更新 円安追い風</li> <li>・経済安全保障推進法が成立 規制対象、国の裁量大きく企業に懸念</li> <li>・岐阜市の長良川鶴飼が通常通り開幕 過去2年はコロナ禍で延期</li> <li>・★愛知県豊田市の明治用水頭首工で漏水 農業用の給水停止、工場にも影響</li> </ul>
6月	133.85円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年3月末から中国上海市において行われていたロックダウンが解除される</li> <li>・2021年生まれの赤ちゃんの数 81万1,604人 統計史上最少</li> <li>・訪日外国人観光客の入国手続き再開 コロナ流行で途絶えて約2年ぶり</li> </ul>
7月	136.70円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安倍晋三元首相撃たれ死亡、参院選の街頭演説中 容疑の元海自隊員逮捕</li> <li>・コロナ感染 11万人超す 1日当たり国内過去最多、「第7波」本格化</li> <li>・フィギュアスケート男子の羽生結弦選手引退 五輪連覇、プロ転向</li> <li>・鹿児島県の桜島が噴火 警戒レベル最高の5「避難」を気象庁が適用</li> </ul>
8月	135.28円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国高校野球選手権が開幕 コロナ対策で開会式参加は各校主将のみ</li> <li>・★鈴木礼治・元愛知県知事死去 愛知万博誘致、中部国際空港推進</li> </ul>
9月	143.09円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県牧之原市の認定こども園で3歳女児死亡 通園バス内に置き去り</li> <li>・★中日の福留孝介外野手が引退表明 プロ野球界最年長 45歳、首位打者2度</li> <li>・エリザベス英女王死去 最長 70年在位、新国王はチャールズ3世</li> <li>・★トヨタ、ロシア生産撤退を発表 ウクライナ侵攻影響、新車販売も断念</li> </ul>
10月	147.16円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・★愛知銀行と中京銀行が経営統合 愛知県の地銀同士の再編は戦後初めて</li> <li>・コロナ水際緩和、入国上限など撤廃 国内客向け全国旅行支援もスタート</li> <li>・★名古屋テレビ塔が国重要文化財へ 全国のテレビ塔で初、文化審議会答申</li> <li>・連合、23年春闘で5%賃上げ要求へ 物価高受け 28年ぶり水準</li> <li>・ソウルで雑踏事故、死者 156人 ハロウィーン前に若者ら狭い坂道に密集</li> </ul>
11月	142.17円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・★ジブリパークが愛・地球博記念公園内に開園 ジブリ作品の世界観を表現</li> <li>・俳優木村拓哉さんが織田信長役で 46万人観覧 ぎふ信長まつり、厳重警備</li> <li>・★世界体操女子平均台で渡部葉月選手が優勝 日本女子最年少 18歳2か月</li> <li>・★次世代半導体の国産へ新会社設立 トヨタなど8社、政府 700億円補助</li> <li>・世界の人口が 80億人を突破 国連推計 59年までに 100億人超え予想</li> <li>・★郡上踊(岐阜)、綾渡の夜念仏(愛知)など風流踊 41件が無形文化遺産に</li> </ul>
12月	134.85円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・★フィギュア GPファイナル男子で宇野昌磨、女子で三原舞依両選手が初V</li> <li>・★全国広範囲で大雪 「クリスマス寒波」名古屋は8年ぶり 10センチの積雪</li> <li>・中国が「ゼロコロナ」政策終了を発表 日本は中国から入国の水際強化へ</li> </ul>
2023年1月	130.28円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皇居で3年ぶり新年一般参賀 愛子さまは成年皇族として初めて参加</li> <li>・国債の利率を年 0.5%に引き上げ 10年物の入札、8年ぶり水準</li> <li>・中国が春節連休入り 4年ぶり行動制限なし 水際強化で日本観光は低調</li> <li>・コロナの感染症法上の位置付けを5月8日に「5類」へ移行 政府決定</li> <li>・★トヨタ、22年の世界販売首位 3年連続 前年比 0.5%減の 956万台</li> </ul>
2月	132.69円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・★愛知県知事選で大村秀章氏が4選 共産推薦新人ら5氏破る</li> <li>・ノルディックスキーW杯ジャンプ女子第17戦で日本勢が初の表彰台独占</li> <li>・★豊田章一郎トヨタ名誉会長死去 海外生産推進「世界のトヨタ」築く</li> <li>・★トヨタが春闘初回交渉で2年連続の満額回答 ホンダも満額、ベア最高額</li> <li>・ロシアによるウクライナ侵攻1年 停戦の兆しなく、1,300万人避難生活</li> <li>・22年の出生数 80万人割る 1899年統計開始以来初、推計より10年早く</li> </ul>
3月	133.86円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日韓首脳会談、日本で5年ぶり 関係正常化で合意、シャトル外交再開へ</li> <li>・選抜高校野球が開幕 コロナ禍を経て4大会ぶりに全出場校が入場行進</li> <li>・★将棋の藤井聡太五冠が棋王を奪取 20歳8か月、最年少で六冠達成</li> <li>・野球 WBC で日本が世界一 米破り 09年以来3度目 MVP に大谷翔平</li> <li>・文化庁が京都での業務スタート 中央省庁で初めて本庁を地方移転</li> </ul>

注1) 為替相場(東京インターバンク相場): ドル・円 スポット 17時時点/月中平均 資料: 日本銀行「外国為替市況」  
 注2) ★印は、愛知県に関連深い出来事を示す。